

令和7年度全国高等学校総合体育大会 第75回全国高等学校スキー大会 実施要項 (ジャンプ種目)

- 主催** (公財) 全国高等学校体育連盟 (公財) 全日本スキー連盟
北海道 北海道教育委員会 名寄市 名寄市教育委員会
- 共催** 読売新聞社
- 後援** スポーツ庁 (公財) 日本スポーツ協会 NHK
(公財) 北海道スポーツ協会 (一財) Nスポーツコミッションなよろ
- 主管** (公財) 全国高等学校体育連盟スキー専門部 北海道高等学校体育連盟
(公財) 北海道スキー連盟 名寄地方スキー連盟
- 協力** 陸上自衛隊名寄駐屯地

1 期 日 競技：令和8年2月3日(火)～5日(木)

2 会 場 スペシャルジャンプ 名寄市：名寄ピヤシリジャンツェ
ノルディックコンバインド 名寄市：名寄ピヤシリジャンツェ
名寄市：なよろ健康の森クロスカントリーコース

3 種 目

男子	スペシャルジャンプ ノルディックコンバインド
女子	スペシャルジャンプ (公開競技) ノルディックコンバインド (公開競技)

4 日 程

月 日	時 刻	競 技 内 容	会 場
2月2日 (月)	9:00	ジャンプコース公開 クロスカントリーコース公開	名寄ピヤシリジャンツェ なよろ健康の森クロスカントリーコース
2月3日 (火)	8:30	ジャンプ種目TCM	名寄ピヤシリジャンツェ
	9:30	スペシャルジャンプ公式練習 引き続き ノルディックコンバインドジャンプ公式練習・予備ラ ウンド(PCR)	
2月4日 (水)	9:30	スペシャルジャンプ (男子競技に引き続き女子公開競技)	名寄ピヤシリジャンツェ
2月5日 (木)	9:30	ノルディックコンバインドジャンプ (男子競技に引き続き女子公開競技)	名寄ピヤシリジャンツェ
	13:30	女子ノルディックコンバインド クロスカントリー5km (フリー) (公開競技)	なよろ健康の森クロスカントリーコース
	14:00	男子ノルディックコンバインド クロスカントリー10km (フリー)	

5 競技規則

(公財)全日本スキー連盟競技規則最新版に準拠した(公財)全国高等学校体育連盟スキー専門部規程によるほか、本大会要項による。

6 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入すること。
但し、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

7 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、スキー専門部に登録し、学校所在地の都道府県において、(公財)全日本スキー連盟にSAJ会員登録とSAJ競技者登録(SAJデータバンク登録者一覧に記載された者)を完了し、当該競技実施要項により全国大会の参加資格を得た者に限る。但し、都道府県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。
- (3) 年齢は、2006年(平成18年)4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校後・転籍後6カ月未満の者は同一競技への参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住など、やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。大会開始前のエントリー変更期限前に6カ月が経過し、出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリーの変更のルールがある場合には、そのルールに従って変更を認める。
- (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
 - ① 上記(1)、(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、大会参加資格の別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - ② 上記(3)の但し書きについて、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ① 本連盟の活動の目的を理解し、それを尊重する。

- ② 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ③ 各学校にあつては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - ④ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもと適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失しておらず、運営が適切であること。
- (2) 大会参加に際し守るべき条件
- ① 大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会参加申合事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - ② 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ③ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

8 出場制限

- (1) 1校からの出場選手について、アルペン種目及びクロスカントリー種目は、1種目男女とも3名以内とし、補欠は両種目とも1名とする。但し、エントリー数が都道府県出場枠に満たない場合、その都道府県出場枠内順位で当該校4番目の選手（追加枠）の出場を認める。ジャンプ種目（スペシャルジャンプ、ノルディックコンバインド）は、制限を加えず、補欠は存在しない。但し、いずれの場合も都道府県予選通過者に限る。リレーは1チームとする。（男子は6名連記、女子は5名連記）また、出場選手は1人2種目以内とする。但し、リレーはこの限りではない。
- (2) 令和7年度都道府県種目別出場人員枠を別表1のとおり制限する。
- (3) 予選会の開催が不可能な都道府県は、当該高等学校体育連盟スキー専門部長及び各都道府県高等学校体育連盟会長の推薦によって出場することができる。
- (4) （公財）全日本スキー連盟推薦による海外派遣等のため、各都道府県予選会に出場できなかった者は、所定の手続きの上、その都道府県の枠外で本大会に出場できる。（海外特枠選手）但し、この場合は、補欠選手との交代はできない。
- (5) 開催都道府県は、各種目3名、リレー1チームの増を認める。
- (6) 補欠選手は、各都道府県の予選会において、その都道府県の出場枠内順位であつて各校出場枠（追加枠含む）外にあつた場合、その種目該当校に1名の補欠選手を認める。補欠選手を設けた場合は、補欠選手の数だけ予選会の順位を繰り上げてエントリーすることができる（各都道府県の出場枠に、補欠選手は含まない）。
- (7) 出場選手のランキングは、各都道府県予選会の順位とする。但し、補欠選手及び1校出場枠を超える選手があつた場合は、繰り上げランキングとする。追加枠のランキングについては、予選会順位順で追加枠のランキングとする。
- (8) 外国人留学生の参加については、男女とも1校1名までとする。
- (9) 女子ジャンプ種目（スペシャルジャンプ、ノルディックコンバインド）（公開競技）においては、在学する学校の校長及び所属する都道府県高等学校体育連盟会長の承認を得るものとする。

9 スタート順

スタート順は次のとおりとする。

- ① アルペン種目は、男女とも3グループ内でSAJポイント順とし、第1グループ内の第1シード選手15名及び各グループ内のSAJノーポイント・同ポイントの選手においては、10.(1)の抽選によりスタート順を決める。
- ② クロスカントリー種目は、第3、第4、第2、第1グループ順を原則とする。（リレーは除く）

- ③ ジャンプ種目は、第1、第2、第3、第4グループ順を原則とする。
- ④ ノルディックコンバインド種目のクロスカントリー10kmは、グンダーセン方式とする。
- ⑤ 補欠選手と正選手の交代は、当該種目実施前日の午後4時までに大会実施本部において受け付け、組織委員会の判断において決定する。交代が認められた選手は、アルペン種目についてはTCMで連絡する。併せて、大会実行委員会ウェブサイトで告知する。
- ⑥ アルペン種目の補欠選手との入れ替えは、正選手のグループ内へ補欠選手を入れ、ドロワーは補欠選手が保有するSAJポイントにて行うこととする。

10 抽 選

- (1) アルペン種目は、各競技日前日のTCMで行う。
- (2) ノルディック種目は、あらかじめ仮出発番号を定めるものとし、各都道府県の出場制限数によって各グループの仮出発番号の抽選を行う。
- (3) 抽選方法は次のとおりとする。
 - ① アルペン種目は3グループに、ノルディック種目（リレーは除く）は4グループに区分する。
 - ② ノルディック種目のグループ分けは、出場枠に応じてランキング1から順に第4グループから割り振る。以下、第3・第2・第1グループまで均等に分ける。
 - ③ アルペン種目は、9.①に記載のとおり、第1グループ内のSAJポイント上位15名を第1シードとして抽選する。また、各グループ内のSAJノーポイント・同ポイントの選手も抽選によりスタート順を決める。
 - ④ 各グループ別人数については、アルペン種目は都道府県出場枠人数、ノルディック種目は出場実人数とし、別表2により区分する。
 - ⑤ （公財）全日本スキー連盟推薦による海外特枠選手の区分は、アルペン種目は第1グループ、ノルディック種目については第4グループの後に位置し、それが複数の場合は、抽選でスタート順を決める。

11 採点方法

- (1) 入賞得点は次のとおりとする（女子公開競技は点数計算に入らない）。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
得点	11	9	8	7	6	5	4	3	2	1

- (2) 個人入賞で同順位の場合は、次位を空席とし該当する得点を合計し、同順位者数で割った点数を得点とする。
- (3) 総合優勝は総合最高得点校であり、同点の場合は各種目の上位入賞者数（3位まで）により決定する。なお、それでも決定しない場合は、リレー競技の順位により決定する。
- (4) 総合の2位以下の順位決定は得点順とするが、同点の場合は同順位とし、次位を空席とする。
- (5) 海外特枠選手を出場させている学校で、1校4名以上の出場となった場合、学校対抗得点対象選手3名を指定して申し込み、申し込み後の変更は認めない。
また各種目において、1校4名以上の出場となった場合、学校対抗得点対象選手3名を指定して申し込み、申し込み後の変更は認めない。但し、対象外者の得点は次位者に与える。
- (6) 前項8.出場制限(1)に示す追加枠の選手については、得点対象としない。

12 表 彰

- (1) 総合の部
 - ① 優勝校には、男女とも（公財）全国高等学校体育連盟会長杯及び文部科学大臣杯を授与する。（持ち回りとする）
 - ② 賞状は、男女とも1位から6位まで授与する。
 - ③ 優勝校には、男女ともNHK杯及び読売新聞社杯を授与する。
 - ④ 表彰は閉会式において行う。

(2) 種目別の部

- ① 男女とも1位から10位まで賞状を授与する。(追加枠を含む)
- ② 男女とも各種目3位まで(公財)全日本スキー連盟制定のメダルを授与する。
- ③ 表彰は各競技終了後、各競技で指定した会場で行う。
- ④ 競技最終日のクロスカントリー男女リレー競技の表彰は、新潟県十日町市で閉会式前に行う。
- ⑤ 女子ジャンプ種目(スペシャルジャンプ、ノルディックコンバインド)(公開競技)は、(公財)全国高体連スキー専門部で6位まで表彰する。

13 参加申込

(1) 申込書類

- | | |
|---|-----------|
| ① 大会参加申込通知書 | (様式1) |
| ② 都道府県選手団役員編成表 | (様式2) |
| ※選手団役員の編成は、団長・副団長・総監督・総務・種目別監督各1名とする。 | |
| ③ 種目別参加申込書 | (様式3A・3N) |
| ④ 都道府県別リレー参加申込書 | (様式3R) |
| ⑤ 学校別出場認知書【男女別とする】 | (様式4) |
| ※各学校の監督・マネージャーはそれぞれ3名以内とする。 | |
| また、SAJ競技者管理番号の記入のないものは受け付けない。 | |
| ⑥ 都道府県選手団 宿泊申込書 | (様式5) |
| ⑦ 学校別 宿泊申込書 | (様式6) |
| ⑧ 都道府県役員 宿泊申込書 | (様式7) |
| ⑨ 視察申請及び宿泊申込書【視察員を派遣する都道府県のみ】 | (様式8) |
| ⑩ 都道府県予選会の公式記録(リザルト) | 1部 |
| (リザルト形式でない場合、順位、タイムが明記されており、専門委員長の印があること) | |
| ⑪ 参加承諾願(海外特別枠)(写し) | (様式9) |

(2) 申込方法

- ① 各参加校の業務(第75回大会の様式を使用すること)
下記の書類を作成し、各都道府県申込責任者へ提出する。
(様式4) 学校別出場認知書
※選手氏名の漢字、学年、生年日、SAJ競技者管理番号などを確認する。
(様式6) 学校別宿泊申込書
- ② 各都道府県申込責任者(各都道府県専門委員長)の業務
ア 上記(1)の申込書類を作成及び取りまとめる。
(様式3A) (様式3N) 種目別参加申込書
(様式3R) 都道府県別リレー参加申込書
※選手氏名の漢字、学年、SAJ競技者管理番号などを確認する。
また、(別表1) 都道府県出場枠、(別表2) 抽選グループ別人数を照らし合わせ、枠数、グループについても確認する。
イ 申込期限までに、全ての書類を下記実行委員会事務局に電子メールを送信する。
様式1, 4については、開会式会場で所定の場所に提出すること。(郵送は行わない)
様式1, 様式4, 様式9の公印及び公式記録のサインの無いものは受け付けない。
ウ 参加料・プログラム代金(合計金額)は、種目ごとに指定された口座への「銀行振込」とする。振込金受領書のコピーを申込書類とともに開会式会場で提出する。
※振込人には、「都道府県名 氏名」のように、必ず都道府県名を明記する。
エ 申込期限に遅れたもの、申込書類に不備があるものは受け付けない。
オ 申し込み後の選手(補欠を含む)の変更は認めない。

(3)申 込 先

r7ski.ih@gmail.com

(4) 申込期限

参加申込書類一式： 令和8年1月19日（月）正午 必着

(5) 参加料（選手のみ、女子公開競技選手も含む）

個 人：1種目4,500円

リレー：男子1チーム8,000円、女子1チーム6,000円

【*参加申し込みと同時に納入する】

(6) プログラム

プログラムについては、参加校には各種目1部を無料配布する

代金は1部1,500円とし、申し込みと同時に参加選手数分を参加料と合わせて納入すること。

【振込先】

(1)アルペン種目

金融機関名	八十二銀行 長野北支店
店番号	220
普通口座	517604
口座名義	第75回全国高等学校スキー大会 長野県実行委員会

(2)クロスカントリー種目

金融機関名	第四北越銀行（0140）古町支店
店番号	280
普通口座	6319815
口座名義	第75回全国高等学校スキー大会新潟県実行委員会 会長 稲川俊啓

(3)スペシャルジャンプ・ノルディックコンバインド種目

金融機関名	旭川信用金庫富良野支店
店番号	038
普通口座	1321020
口座名義	全国スキー大会北海道実行委員会 岡本浩一

14 宿 泊

宿泊申込については、指定された方法・締め切り期限厳守で申し込むこと。

詳細については、「宿泊・弁当要項」を参照のこと。

15 傷害処置

出場選手が競技中に傷害を負った場合は、主催者が応急処置を行い、必要に応じて救急車を要請する。以後は各学校で処置するものとする。

16 注意事項

- (1) 参加選手は、万一の事故に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じること。
- (2) 出場選手は、必ず引率責任者によって引率され、引率責任者は全ての行動に対して責任を負う。
- (3) 都道府県選手団代表者は、競技別実施本部で受付を済ませること。
受付開始：令和8年2月2日（月）～ 【午前9時～午後4時半まで】

*ジャンプ種目は令和8年2月2日(月)TCM時とする
受付場所：アルペン会場【菅平高原国際リゾートセンター】
クロスカントリー会場【十日町市吉田クロスカントリーハウス】
ジャンプ・コンバインド会場【名寄ピヤシリシャンツェ管理棟】

17 大会実行委員会事務局及び大会実施本部

【アルペン種目】大会実行委員会事務局

〒380-0802 長野県長野市上松1-16-12(長野県長野高等学校 金鷄会館内)
令和7年度全国高等学校総合体育大会第75回全国高等学校スキー大会
長野県実行委員会事務局
TEL 026-234-1205 事務局専用070-7530-0075
FAX 026-234-1240
E-mail r7ski.nagano@gmail.com
大会HP <https://sites.google.com/view/75th-hp>



<大会実施本部(～2月10日)>

〒386-2204 長野県上田市菅平高原1223-1751「菅平高原国際リゾートセンター」内
令和7年度全国高等学校総合体育大会第75回全国高等学校スキー大会実施本部(事務局)
TEL 070-7530-0075
E-mail r7ski.nagano@gmail.com

【クロスカントリー種目】大会実行委員会事務局

〒947-0005 新潟県小千谷市旭町7-1(小千谷高等学校内)
令和7年度全国高等学校総合体育大会第75回全国高等学校スキー大会
新潟県実行委員会事務局
TEL 0258-83-2262 事務局専用070-1367-1862
FAX 0258-82-0646
E-mail r7ski.niigata@gmail.com
大会HP 準備中

<大会実施本部(～2月13日)>

〒948-0103 新潟県十日町市小泉240-1 十日町市吉田クロスカントリーハウス内
令和7年度全国高等学校総合体育大会第75回全国高等学校スキー大会
クロスカントリー種目実施本部
TEL 070-1367-1862
E-mail r7ski.niigata@gmail.com

【ジャンプ種目】大会実行委員会

〒076-0037 北海道富良野市西町1-1(北海道富良野高等学校内)
令和7年度全国高等学校総合体育大会第75回全国高等学校スキー大会
北海道実行委員会事務局
TEL 0167-22-2594 FAX 0167-22-2594
E-mail r7ski.hokkaido@gmail.com
大会HP nayoro-ski.net (名寄地方スキー連盟)

＜大会実施本部（2月2日～）、ジャンプ種目実施本部＞

〒096-0066 北海道名寄市日進「名寄ピヤシリジャンツェ管理棟」内
令和7年度全国高等学校総合体育大会第75回全国高等学校スキー大会
ジャンプ種目実施本部

TEL 090-8638-9156

E-mail r7ski.hokkaido@gmail.com

18 個人情報及び肖像権に関わる取扱い

- (1) 大会プログラムや掲示板等に掲載され、競技場内でアナウンスされることがある。また、大会会関係ウェブサイトに掲載されることがある。
- (2) 本大会実行委員会に認められた報道関係機関が撮影した映像・写真・記録等は、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載されることがある。
- (1) 大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとして、これ以外の目的に使用することはない。参加申込書類の提出により、上記取扱いに関する承諾をいただいたものとして対応する。また、大会役員、競技役員、大会関係者及び会場に来られる観客の皆様についてもこれに準ずる。

**令和7年度全国高等学校総合体育大会
第75回全国高等学校スキー大会
女子スペシャルジャンプ・ノルディックコンバインド公開競技要項**

- 1 期 日** 令和8年2月3日(火)～2月5日(木)
 (1) 公式練習・PCR 令和8年2月3日(火)
 (2) 競 技 令和8年2月4日(水)～5日(木)
 (3) 表 彰 式 各競技終了後

- 2 会 場** スペシャルジャンプ 名寄市 名寄ピヤシリシャンツェ
 ノルディックコンバインド 名寄市 名寄ピヤシリシャンツェ
 名寄市 なよる健康の森クロスカントリーコース

3 日 程

月 日	時 刻	競 技 内 容	会 場
2月2日 (月)	9:00	ジャンプコース公開 クロスカントリーコース公開	名寄ピヤシリシャンツェ なよる健康の森クロスカントリーコース
2月3日 (火)	8:30	ジャンプ種目TCM	名寄ピヤシリシャンツェ
	9:30	スペシャルジャンプ公式練習 引き続き ノルディックコンバインドジャンプ公式練習 予備ラウンド(PCR)	
2月4日 (水)	9:30	スペシャルジャンプ (男子競技に引き続き女子公開競技)	名寄ピヤシリシャンツェ
2月5日 (木)	9:30	ノルディックコンバインドジャンプ (男子競技に引き続き女子公開競技)	名寄ピヤシリシャンツェ
	13:30	女子ノルディックコンバインド(公開競技) クロスカントリー5km(フリー)	なよる健康の森クロスカントリーコース
	14:00	男子ノルディックコンバインド クロスカントリー10km(フリー)	

4 競技規則

(公財)全日本スキー連盟競技規則最新版に準拠した(公財)全国高等学校体育連盟スキー専門部規程によるほか、本大会要項による。

5 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入すること。
 但し、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

6 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、スキー専門部に登録し、学校所在地の都道府県において、（公財）全日本スキー連盟にSAJ会員登録とSAJ競技者登録（SAJデータバンク登録者一覧に記載された者）を完了し、当該競技実施要項により全国大会の参加資格を得た者に限る。但し、都道府県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。
- (3) 年齢は、2006年（平成18年）4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校後・転籍後6カ月未満の者は同一競技への参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。但し、一家転住などやむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。大会開始前のエントリー変更期限前に6カ月が経過し、出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリーの変更のルールがある場合には、そのルールに従って変更を認める。
- (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
 - ① 上記(1)、(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、大会参加資格の別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - ② 上記(3)の但し書きについて、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】 （大会実施要項参照）

7 抽 選

（公財）全日本スキー連盟のSAJポイント順とする。

8 表 彰

（公財）全国高等学校体育連盟スキー専門部より、1位から6位まで賞状を授与する。表彰は、競技終了後、各競技の指定する会場で行う。

9 参加申込

(1) 申込書類

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">① 種目別参加申込書（様式3N（公開））② 大会参加申込通知書（様式1）③ 学校別出場認知書（様式4） ※SAJ競技者登録番号の記入のないものは受け付けない④ 宿泊申込書（様式5）（様式6）
※③④は、公式競技の申込書類に女子スペシャルジャンプ・ノルディックコンバインド参加選手を含めて記入すること |
|--|

(2) 申込方法

各都道府県責任者が、本大会用の書式とともに上記(1)の様式を作成し申し込むものとする。

送付先 r7ski.ih@gmail.com

(3) 申込期限

参加申込書類一式： 令和8年1月19日（月）正午 必着

(4)参加料（選手のみ）

個人：1種目4,500円【※参加申し込みと同時に納入する】

(5)プログラム

参加選手・マネージャーは全員購入とする。

代金は1部1,500円とし、申し込みと同時に参加選手数分を参加料と合わせて納入すること。

参加校には、各種目1部を無料配布する。

【振込先】

金融機関名	旭川信用金庫富良野支店
店番号	038
普通口座	1321020
口座名義	全国スキー大会北海道実行委員会 岡本浩一

10 宿泊

宿泊申込については、指定された方法・締め切り期限厳守で申し込むこと。

詳細については、「宿泊・弁当要項」を参照のこと。

11 傷害処置

出場選手が競技中に傷害を負った場合は、主催者が応急処置を行い、必要に応じて医療機関まで輸送する。以後は各学校で処置するものとする。

12 注意事項

(1) 参加選手は、万一の事故に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

(2) 出場選手は、必ず引率責任者によって引率され、引率責任者はすべての行動に対して責任を負う。

(3) 都道府県選手団代表者は、ジャンプ種目TCM時（2月2日）に受付を済ませること。

13 実行委員会事務局及び大会実施本部（大会実施要項参照）